



学校教育目標

夢大きく、心豊かな児童の育成

～知・徳・体！キラリと光る三つ巴っ子～

ごあいさつ

三原市立本郷小学校は、明治8年（1875年）高山城の麓、圓光寺に開設され、来年で150周年を迎えます。また、小早川氏の家紋「左三つ巴」を校章に戴くなど、歴史と伝統のある学校です。

この歴史と伝統を誇りに、346名の児童が、それぞれの夢の実現に向けて、のびのびと成長できる学校を目指して、本年度の学校教育目標を、「夢大きく、心豊かな児童の育成～知・徳・体！キラリと光る三つ巴っ子～」としています。

本校では児童も教職員も『三つ巴の魂』を大きく育てよう』を合言葉に、日々がんばっています。この『三つ巴の魂』とは、「かしこくなる魂」「やさしくなる魂」「たくましくなる魂」の三つをいい、具体的には次のような取組を進めています。

○「かしこくなる魂」を育てるために

本校では、研究主題を「論理的思考力を育む、生活科・総合的な学習の時間の創造～振り返り活動の充実を通して～」とし、児童が授業の中で友だちと考え合ったことを「R80」で振り返り、「何を学んだか」「新たな課題は何か」などについて思考・表現することを通して、論理的思考力を育成しようと考えます。

○「やさしくなる魂」を育てるために

本年度から、本校はコミュニティ・スクールとしてスタートを切ります。地域の皆様・保護者の皆様のお力をお借りしながら、ふるさと本郷の良さを実感し、地域を愛する児童を育てていきます。また、自他を尊重する心を育て、安心・安全な学校づくりを進めています。

○「たくましくなる魂」を育てるために

三原市の金のルールでも示されているように、『早寝』『早起』『朝ごはん』の基本的な生活習慣の定着を図っています。また、基礎的な体力の向上を目指し、体育科授業の工夫や、体を動かすことが楽しいと感じる児童を育てる取組を進めています。

本年度も、地域の宝である子どもたちの、成長のために、全教職員一丸となって教育活動に邁進していきます。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

三原市立本郷小学校長 永井 美智子